

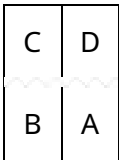
21×3 ラリーポイント新スコアリングシステムについて

要点のみ

ダブルス、シングルス共通

- サービス権の有無にかかわらず、ラリーに勝った方に必ず得点が入る。
- 全種目1ゲーム21点で3ゲームマッチ、2ゲーム先取で勝ち。
- 20オールの時は、2点差がつくまで行うが、最大30点まで。
- 自分の得点が0と偶数の時は右側から、奇数の時は左側からサービス。
- サービスをしてラリーに勝つと同じ人が続けてサービス。ただし、左右を変える。

ダブルスのサービス順について



最初のサーバーをA、そのパートナーをB、最初のレシーバーをC、そのパートナーをDとするとサービスの順番はかならず

A D B C の繰り返し。

- 自分の得点が0と偶数の時は右側から、奇数の時は左側からサービス。
- サービスをしてラリーに勝つと同じ人が続けてサービス。ただし、左右を変える。
- セカンドサーバーは無し。そのイニングでサービスは1本。
- レシーバーのポジションチェンジ無し。(直前のラリーの位置のまま)

プレーする上でのポイント

- 自分は誰の次にサーバーなのか。
- そのときの得点は偶数か奇数か。 と で自分の正しい位置が決まる。
- パートナー同士の間ではサービスは交互に行われる。

審判上のポイント

- 誰がファーストサーバーで、誰がファーストレシーバーか
- サービスをどちらが選択したか と でA D B Cが決まる。
- プレーヤーの特徴を記入する。
- A D B Cとか1 2 3 4を記入する。その順番でスコア用紙の名前の欄に得点が記入される。
- サービスオーバーになったら、次のサーバーの欄に得点を記入する。